企業周辺の文化を訪ねる

しいなりい

大阪府

枚方市

❶市立枚方宿鍵屋資料館

江戸時代には、東海道から延びた京街道の宿場町、また淀川舟運の中継港として賑わった枚方宿。かつて船待ちの宿、料理旅館として名をはせた鍵屋が資料館となり、往時の雰囲気と賑わいを伝えています。

七夕伝説も日本最古の遊園地もある、宿場と舟運でにぎわった京阪の要衝地。

大阪府の北東部に位置し、東に生駒山系を望み、西には淀川が流れる枚方市は、七夕伝説や伝王仁墓などが今も残る歴史の街。平安時代には貴族に愛され、歌にも詠まれてきました。また京都・奈良・大阪を結ぶ交通の要衝でもあり、江戸時代には客に酒肴を売る名物「くらわんか舟」が行き交う舟運の中継港、街道の宿場として発展。現在は人口約40万人、大阪府下で4番目の規模を誇っています。

取材・写真協力：枚方市 賑わい交流課

❷片埜（かたの）神社本殿

豊臣秀頼が再建した本殿は、三間社流造で桃山時代の様式をよく示しています。「竹に虎」などの精巧な彫刻入りの蟇股や、美しい彩色が目をひく国重要文化財です。

❸七夕伝説

かつて交野ヶ原と呼ばれた地域には、織姫と彦星の七夕伝説があり、七夕にちなんだ地名が残っています。七夕伝説にちなんだ産業振興キャラクター「ひこぼしくん」が大活躍。

❹ふとん太鼓巡行

屋根部にふとんを重ねた神輿をかついで練り歩く「ふとん太鼓」は、18世紀頃に始まりました。豊作への感謝と町の安全と発展を祈願して、地元の氏神さんに毎年秋に奉納されます。

❺ひらかたパーク

1912年（大正元年）開園、継続する遊園地としては日本最古の施設です。アトラクションイベント、動物、バラ園、買物、食事と、家族3世代が楽しめます。